報道解禁：令和２年12月18日（金）締結終了後

山梨県 Yamanashi Prefecture　国際スペースメディカル株式会社

Press Release

令和2年12月15日
山梨県　農政部食糧花き水産課
課長　近藤　隆
電話　　055-223-1610（内線 5300）

報道関係者各位

富士の介の機能性成分等に関する共同研究に係る基本合意書締結式について

＜内容＞

〇趣　　旨　　山梨県のブランド魚である富士の介の更なるブランド化を図るため、世界初となる富士の介によるエクソソーム等の機能性成分の探索とその利用方法の開発に関する共同研究について、県と国際スペースメディカル株式会社で、基本合意書を締結します。

〇日　　時　令和２年１２月１８日（金）　午前１１：００～１１：３０
※受付は１０時３０分～

〇開催場所　都道府県会館　４階　４０１会議室
（東京都千代田区平河町２丁目６－３）

〇出 席 者　山梨県知事　長崎　幸太郎
国際スペースメディカル株式会社
宮戸　みつる　CEO 最高経営責任者
落谷　孝広　CSO 最高化学責任者（日本エクソソーム協会会長）
（※エクソソームの第一人者で世界的権威）

※　エクソソームとは、細胞から分泌される直径 50～150 ナノメートルのメッセージカプセルで、マイクロＲＮＡを包み、生命維持のための膨大な情報を細胞間で伝達するもの。
感染性病原体や腫瘍に対する適応免疫応答の媒介、組織修復、神経伝達や病原性タンパク質の運搬などの役割を持つことが示唆されています。（詳細は別添資料参照）

※　解禁付き理由
締結の相手方である国際スペースメディカル株式会社の意向により、12 月 18 日（金）の締結式終了まで、報道はお控えいただけますようお願いいたします。

※　なお、当日の問い合わせは、食糧花き水産課　高橋（090-3068-8557）まで。

・地下鉄 有楽町線・半蔵門線 「永田町駅」５番出口から地下鉄連絡通路を経て徒歩約１分

・地下鉄 南北線 「永田町駅」９番ｂ出口から地下鉄連絡通路を経て徒歩約１分

・地下鉄 丸の内線・銀座線 「赤坂見附駅」から徒歩約５分

（別添資料）

エクソソームとは

Exosome(エクソソーム・エキソソーム)とは、ほとんどの細胞で分泌される直径 50 ～ 150 ナノメートルのメッセンジャーカプセル（膜小胞）で、体を流れる 1cc あたり 100 兆個のメッセージ物質です。

これまで、人の臓器は、脳が出す命令によって活動していると考えられてきましたが、実はエクソソームが臓器同士のやり取りを担っていることが判明しました。

常に体内では、エクソソームによって臓器同士（細胞同士）が膨大なやり取りを繰り返すことで、生命の維持が保たれています。

また、エクソソームがどんなメッセージを持っているかを調べることによって、体内で起きている病気の兆しを発見することも可能となります。

＜出展：国際スペースメディカル(株)＞

富士の介の機能性成分等に関する
共同研究に係る基本合意書締結式

令和２年１２月１８日
都道府県会館　４０１会議室

（明治５年創刊）　第50370号（日刊）

山梨日日新聞

12/19 土

県中西部

降水確率（%）

6～12時	12～18時	18～24時
10	0	0

最低	最高
1	11

県東部五湖

降水確率（%）

6～12時	12～18時	18～24時
10	10	0

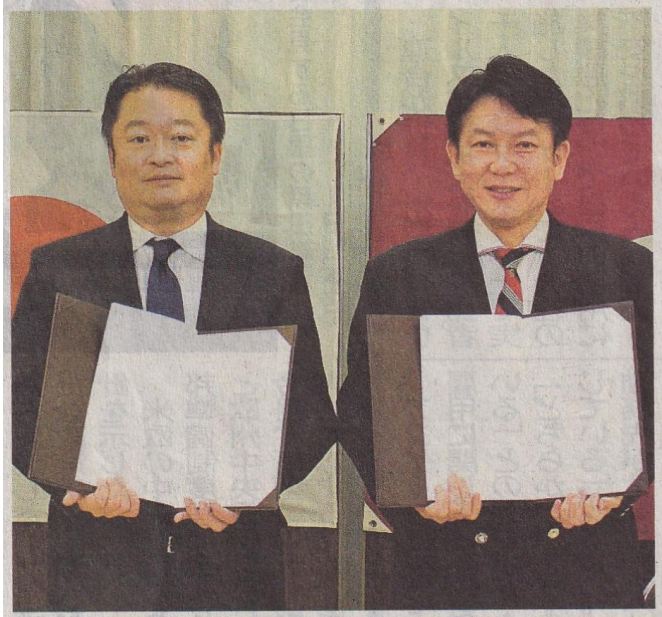
最低	最高
-3	6

詳細は２面に

「富士の介」の成分分析

県と創薬企業が共同研究

サプリ開発で付加価値創出



基本合意書を交わした長崎幸太郎知事（左）と国際スペースメディカルの宮戸みつる代表
＝東京・都道府県会館

県と創薬メーカーの国際スペースメディカル（東京都千代田区）は18日、県のブランド魚「富士の介」の成分を分析し、サプリメントの開発などを目指す共同研究を始めることで基本合意した。富士の介に新たな付加価値を創出し、販路拡大を図ることなどが狙い。

富士の介が免疫力に効果があるとされるビタミンD3を多く含むサケ・マス類であることや、安定した分析が可能な養殖魚であることから、国際スペースメディカルが県に提案した。

共同研究では、血中で細胞間の情報伝達を担う「エクソソーム」と呼ばれる物質を解析し、富士の介が保有する特徴的な機能性成分を確認する。成分を多く含む部位を特定した上で、サプリメント開発や別の商品化を目指す。成分の確認は早ければ来年1～2月ごろになるという。

この日は東京都内で締結式を行い、長崎幸太郎知事と東京医大客員研究員で国際スペースメディカルの宮戸みつる代表が基本合意書に署名した。

長崎知事は「機能性表示食品への発展やニジマス養殖への応用など夢と期待が膨らむ画期的な研究になる」とあいさつ。宮戸代表は「期待に沿えるようしっかり研究を進めたい」と述べた。

宮戸代表ら東京医大や東京慈恵医大のチームは10月、新型コロナウイルス感染者の重症化予測に役立つ可能性のある血液中の物質を、「エクソソーム」を調べることで特定したと発表している。

〈鈴木秀人〉

発行所
山梨日日新聞社
〒400-8515
甲府市北口2-6-10
電話（055）231・3000
編集 231・3111 事業 231・3121 広告 231・3131
FAX 231・3161 出版 231・3105 販売 231・3132

©山梨日日新聞社2020年